

令和2年8月6日（木）

「水槽清掃&ウナギの生理学調査をおこないました」

8月4日（火）～5日（水）、大槌町赤浜地区にある東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センターにおいて、水槽清掃とウナギの生理学調査をおこないました。本活動には3年生男子3名が参加しました。

4日は、屋外飼育用の水槽を清掃しました。前回より数も多く、魚の移動→水抜き→海藻除去→水入れを効率よくこなしていきました。また、今回もサメやカスベ（エイの仲間）の卵など珍しい生き物を見ることができました。

5日は、室内に入りウナギの生理学調査をおこないました。ウナギも含め海水魚は、塩分過多にならないよう積極的に体内へ海水を摂取します。この調査では、“喉が渴いた”ウナギが一度にどれくらいの海水を摂取するのかを調べました。

